

4. 革新的メカニズムの導入成功要件

これまでの議論では、どの種の配分メカニズムが、アクセスや品質、効率性の向上といった幅広い目的の1つ1つにより適しているかということを示してきた。しかし、この種の政策評価は、それぞれ個別の国の文脈の中で最も有効と思われる配分アプローチを特定しようとしている政策立案者にとって満足のいくものとはなっていないかもしれない。この章の目的は、多様な革新的配分メカニズムを成功裏に導入するために不可欠となる要素を洗い出すことにある。

(特に途上国や移行国の状況に合わせて) 様々な配分メカニズムの適用可能性や適切性を検討する上で、政策立案者は導入プロセスに関連する3つの重要問題を取り上げてあげて、真剣にそれと向き合う必要がある。

- ・ 政府および高等教育機関の管理能力。異なるメカニズムに対して教育機関が変化し、早期に適応するための柔軟性をどの程度備えているか、あるいは現在の高等教育制度が必要なデータの収集能力を備えているのかといった点を含む。
- ・ 導入検討中の配分メカニズムが有する透明性と客観的妥当性。および、高等教育制度に情報漏洩や不正を生み出す可能性。
- ・ 新規の、あるいは改正された配分メカニズムを導入する際の政治的側面。特に既存のアプローチから新規のアプローチに移行する際のリスクや困難。

上記の3つの課題に向き合うことに加えて、政策立案者は配分政策の改革に付随して予想される(多くは予想外の)事象に対して準備を進めておくべきである。これらすべてについて、この章で取り扱う。